

空気回路

F.R.L
ユニット空気圧
補助機器エアユニット
機器

精密機器

圧力センサ
機器センサ・
コントローラ

全圧システム

メインライン
ユニット

巻末

冷凍式
ドライヤ乾燥剤式
ドライヤ高分子膜式
ドライヤドレン
排出器他

空気質

⚠ 注意

- 入口空気に腐食性ガス、化学薬品、有機溶剤、可燃性ガスが含まれるときは使用しないでください。(1581ページ参照)

フィルタ

⚠ 注意

- 本体の周辺に用いるフィルタの形番については1623ページのシステム選定例一覧表を参照してください。

空気温度

⚠ 注意

- 最高入口空気温度、最高使用圧力を超える使用はしないでください。
- 入口空気温度が高いときにはアフタークーラ等を設置して、最高入口空気温度以下まで下げて使用してください。なお、アフタークーラで発生したドレンは、ドライヤの前で取除いてください。
- 急激な圧力変動のある圧縮空気ラインで使用する場合は、圧力変動を0.34MPa/min以下となるようにエアドライヤの後にエアタンク等を取り付けてください。圧力変動が急激な場合、故障の原因となります。
- GT9300(W)～9450(W)は、冷凍圧縮機2台による容量制御機能を有していますが、負荷変動が大きい場合、容量制御が追従できず、露点が悪化することがあります。その場合は、冷凍圧縮機2台による100%運転をしてください。

保守

⚠ 注意

- 空冷式は、凝縮器あるいはダストフィルタ(GT9075、GT9240～9450は標準装備)の清掃を掃除機やエアブローなどで毎月1回実施してください。清掃を怠りますと、圧縮機・ファンモータ等の故障の原因となります。
- ドレントラップは1週間に1回定期的に取り外し、分解洗浄をしてください。各部が汚れると正常動作をしなくなり、2次側ヘドレンが流出します。(対象機種：GT9075～9450、GT9075W～9450W)

- ドレントラップ用電磁弁の動作確認を、1日1回テストボタンを押して行ってください。(対象機種：GT9710WV、GT9960WV)
- 水冷式の場合、水凝縮器に、水垢などが付着すると性能低下をするばかりか異常停止することがあります。2年に1回は点検を行い、必要に応じて水凝縮器の洗浄を実施してください。冷却水配管を接続される時に、洗浄用配管も接続しておかれることをおすすめします。清掃を怠りますと、凝縮器の汚れが落ちなくなったり圧縮機等の故障の原因となります。

消耗部品

⚠ 注意

- 長く安心してご使用いただくために、定期的に消耗状態を点検して、部品を交換してください。内容は、製品に添付されております取扱説明書を参照してください。

定期保守部品

⚠ 注意

- 長く安心してご使用いただくために、定期的に定期保守部品の点検を実施し、標準交換時期に基づいて交換してください。内容は、製品に添付されております取扱説明書を参照してください。

その他

⚠ 警告

- 本製品は「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律(フロン回収破壊法)」に該当します。廃棄あるいは修理時においては、必ずフロンガスの回収を実施してください。フロンガスの回収については、当社各営業所へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 本機には、第2種圧力容器耐圧証明書が添付されています。本機使用中は、貴社にて大切に保管してください。(対象機種：GT9240～9450、GT9240W～9450W、GT9710WV、9960WV)(労働基準監督署への届出は不要になりました。)